平成19年10月26日

各 位

会 社 名 株式会社 鶴 弥
代表者名 代表取締役社長 鶴見 栄
(コード番号 5386 東証第2部・名証第2部)
問合せ先 常務取締役管理部長 稲垣 富定
(TEL . 0569 - 29 - 3740)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成19年5月7日の決算発表時に公表した平成20年3月期(平成19年4月1日~平成20年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 当期の中間業績予想数値の修正(平成19年4月1日~平成19年9月30日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	6,943	453	403	217	28円03銭
今 回 修 正 予 想 (B)	6,257	278	252	133	17円16銭
増 減 額 (B - A)	686	175	151	84	10円87銭
増 減 率 (%)	9.9	38.7	37.5	38.8	38.8
(ご参考) 前期実績(平成18年9月中間期)	6,214	439	422	233	33円56銭

(金額の単位:百万円)

2. 当期の通期業績予想数値の修正(平成19年4月1日~平成20年3月31日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	14,239	1,248	1,099	616	79円40銭
今 回 修 正 予 想 (B)	12,271	695	529	257	33円13銭
増 減 額 (B - A)	1,968	552	569	358	46円27銭
増 減 率 (%)	13.8	44.3	51.8	58.3	58.3
(ご参考) 前期実績(平成19年3月期)	12,133	1,092	1,022	350	49円71銭

(金額の単位:百万円)

3. 修正の理由

(中間期) 粘土瓦需要動向を大きく左右する新設住宅着工戸数(特に持家)が、平成19年6月の建築基準法改正による建築確認手続きの厳格化の影響と、消費者の金利動向等の様子見による自然減が重なり、新設住宅着工戸数が前年同期に比べ大幅に減少し、併せて同業者間の熾烈な価格競争の影響を受け、売上高は計画を下回る見込みであります。

利益面におきましても、予想を超える燃料価格の急騰、出荷の停滞に伴う生産設備の稼働率低下等による製造コストアップ要因が大きく影響し、売上総利益額が計画を下回り、販売費及び一般管理費の減少に努めましたが吸収しきれず、営業利益、経常利益、中間純利益共計画を下回る見込みであります。

(通期) 通期におきましても中間期同様、基準法と持家住宅の自然減の影響により実需が見えにくい現状を考慮すると、新設住宅着工戸数(特に持家)の大幅な増加は見込めない一方、同業者のF形瓦増産設備投資による熾烈な価格競争に加え燃料価格の急騰による製造コストの大幅な上昇を製品に転嫁せざるを得ない状況が続く中、企業の存亡をかけた熾烈な競争が続く厳しい収益環境が続くと予想されるため、当初計画を修正いたします。

以 上